

体育科学習指導案

指導者 熊野町立熊野第四小学校
教諭 ○○ ○○

- 1 日時 令和2年12月11日(金) 第6校時 熊野第四小学校体育館
- 2 学年 第5学年○組
- 3 単元名 「全員が楽しむ みんなでつくろう、1組バスケ！」
E ボール運動 ア ゴール型 (バスケットボールを基にした簡易化されたゲーム)

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年告示)解説体育編第5・6学年「E ボール運動」「ア ゴール型」を受けて設定した。ボール運動では、ボール操作とボールを持たない時の動きによって、簡易化されたゲームをすること(知識及び技能)や、ルールを工夫したり、自己のチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己の仲間の考えたことを他者に伝えること(思考力、判断力、表現力等)、運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりする力(学びに向かう力、人間性等)を育成することをねらっている。

(2) 教材観

本単元は、ゴール型のバスケットボールを簡易化したゲームで、第1時に必要最低限の基本ルールを設定したあとは、第2時以降、児童の声や考えをルールや場の設定に反映させたゲームへ変容していく教材である。熊四ドライブバスケットボールは攻守交代で行われるゴール型のゲームで、主な特徴は3点ある。

1点目は、攻撃側3人、守備側2人のアウトナンバーゲームであるということである。攻撃側の人数を意図的に増やすことでシュートの機会が増えたり、パスを受けるためにどのように動くかという点に学習課題を焦点化したりすることができる。

2点目は、ドリブルをルールから外し、ボールを運ぶ技能をドライブ(ボールを持ったまま進むこと)というルールを付加することで簡易化した点である。ドライブをすることで、ボールをより簡単にシュートできる場所まで運ぶことができ、得点する楽しさや喜びを味わうことができる。

3点目はフリーゾーン設定である。守備側が入ることのできないフリーゾーンを設けることで攻撃側がシュートしやすくなり、意欲的に学習に取り組むことができる。

また、本単元では、児童に簡易化したゲームを取り組ませる中で、実態に応じて、ルールや場を変更していくこととする。

(3) 児童観

児童の実態についてアンケートをもとに記載しています。

(4) 指導観

指導にあたっては、パスを中心とした技能の向上を図ると共に、触球やパス数、シュート数など各種データから自分や相手チームの特徴を掴んで作戦を立て、それを練習やゲームに生かしていくことで、思考・判断・表現力を児童に付けていきたい。ボール運動を行う際によく聞かれる「どう動けばいいかわからない」という、普段からボール運動の経験が少ない児童には、本単元の取組のようにチームでの作戦会議で動きを確認し、チーム練習で実際に動きを確かめてからゲームに入る流れは、苦手意識を克服する上でも効果的と考えられる。

さらに、学習を進めていながら、児童から出てくる困り感や要望を拾い上げ、ルールや場の工夫に取り組むことで、毎時間、進化し続ける授業にしていきたい。そうすることで、児童は自分たちが授業を創造している主体者であることを、より実感できるであろう。

(5) 共生の視点

チームゲームである特性を生かし、**準備運動からチーム練習、ゲーム、ふり返りまで一貫してチーム(班)での学習活動とし、仲間と運動する楽しさや充実感をもたせると同時に、作戦会議などを通してコミュニケーションを図ったり、データを基にみんなで運動を思考したりする楽しさも味わわせたい。(ここでの運動を思考するとは、自分たちや相手チームの特徴に応じた作戦や、そのための練習方法を考えたり、全員がゲームをより安全に楽しくつくり上げていくためのルールや場の工夫をしたりすることをいう。)**

また、本単元のテーマにもある「みんなでつくろう」は、ゲームのルールや場を工夫するだけでなく、45分間の授業のデザインを児童が描き、授業そのものを児童がつくり上げていく意味もある。そのために、毎時間のゲームの記録をデータ化するだけでなく、チームや個人で行ったふり返りも資料としてまとめ、手元に持たせることで、児童が作戦会議でゲームプランを立てることや授業デザインを考える際の根拠にさせたい。**自分たちの授業を自分たちでつくっているという意識を児童が持てれば、自己肯定感や達成感を高めるのに有効であると考えられる。**

さらに、**授業の中で児童は、ただ練習やプレイに取り組むだけでなく、他のチームがゲームをしているときは「役員」として審判や記録係、得点係として一人一役を担い、全員が何らかの活動をしている状況をつくるようにする。そのことで児童には、自分がチームの一員としてだけでなく、授業をデザインする学級の一員としての自己有用感を持たせたい。**

5 単元の目標

知識及び技能	ドライブバスケットボールの行い方を理解し、基本的なボール操作（パス・シュート）とボールを持たない時の動き（パスを受ける・シュートできる位置に動く）を身に付け、攻撃側にとって易しい状況の中でゲームをすることができる。
思考力、判断力、表現力等	誰もが楽しくゲームに参加できるようにルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じて練習や作戦を選んだり、自己や仲間が考えたことを他者に伝えたりすることができる。 自分たちの授業を自分たちでデザインし、自分たちが主体となって学習活動を進めることができる。
学びに向かう力、人間性等	積極的に運動に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりしている。

6 単元の評価規準

知識・技能	①ゴール型のゲームの行い方をすることができる。 ②基本的なボール操作をすることができる。 ③チームで立てた作戦を理解し、その動きができる。
思考・判断・表現	①誰もが楽しくゲームに参加できるようにルールを工夫することができる。 ②自己やチームの特徴に応じて練習や作戦を選ぶことができる。 ③自己や仲間が考えたことを他者に伝えることができる。 ④授業を担う一人としての意識した行動をとることができる。
主体的に学習に取り組む態	①積極的に運動に取り組もうとしている。 ②ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を

度	認めようとしている。 ③ゲームをしていないときでも、自分の役割を責任をもって果たすことができる。 ④場や用具の安全に気を配っている。
---	--------------------------------------------------------------------------

7 指導・評価計画案 (全8時間)

次	時	学 習 内 容	評 価 方 法				
			知・技	思・判・表	主体的	評 価 内 容	
一	1	○ オリエンテーションを行い、本単元のテーマや見通し、学習の進め方や基本のルールを知る。	◎			<ul style="list-style-type: none"> ・本単元のテーマや学習計画を知る。 ・学習の進め方やドライブバスケットボールの行い方を知る。(知識・技能①) (主体的に学習に取り組む態度①)	行動観察 ワークシート 発言
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ドリル練習を行う。 ○チーム練習を行い、自分やチームの動きを確認する。 ○ゲームを行い、チームの作戦や練習したことを試す。 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なボール操作(シュート・パス)ができる。(知識・技能②) ・チームでの練習やゲームに進んで取り組もうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度②)	行動観察 ワークシート 発言
二	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ドリル練習を行う。 ○チーム練習を行い、自分やチームの動きを確認する。 ○ゲームを行い、チームの作戦や練習したことを試す。 	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なボール操作(シュート・パス)ができる。(知識・技能②) ・自分のチームの特徴に応じた練習や作戦を考えたり、自分の役割を果たしたりすることができる。 (思考・判断・表現①)	行動観察 ワークシート 発言
	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ドリル練習を行う。 ○チーム練習を行い、自分やチームの動きを確認する。 ○ゲームを行い、チームの作戦や練習したことを試す。 	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なボール操作(シュート・パス)ができる。(知識・技能②) ・自分や相手チームの特徴に応じた練習や作戦を考えたり、自分の役割を果たしたりすることができる。 (思考・判断・表現②)	行動観察 ワークシート 発言
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ドリル練習を行う。 ○チーム練習を行い、自分やチームの動きを確認する。 ○ゲームを行い、チームの作戦や練習したことを試す。 	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なボール操作(シュート・パス)ができる。(知識・技能②) ・自分や相手チームの特徴に応じた練習や作戦を考えたり、自分の役割を果たしたりすることができる。 (思考・判断・表現②)	行動観察 ワークシート 発言

	6 (本時)	○ドリル練習を行う。 ○チーム練習を行い、自分やチームの動きを確認する。 ○ゲームを行い、チームの作戦や練習したことを試す。	○	◎	・自分や相手チームの特徴に応じた練習や作戦を考えたり、自分の役割を果たしたりすることができる。 (思考・判断・表現②)	行動観察 ワークシート 発言
四	7	○バスケットボール大会を開く。		◎	・ルールを守って、ゲームを楽しむことができる。 (主体的に学習に取り組む態度②) ・学習してきたことを生かしてゲームをしたり、役員の仕事を担ったりすることができる。 (主体的に学習に取り組む態度②)	行動観察 発言 ワークシート

【授業の基本的な流れ】

時	1	2	3	4	5	6	7
学習活動	オリエンテーション	準備運動					1組 バスケット大会
		シュートなどドリル練習					
		チーム練習					
		第1ゲーム					
		作戦タイム					
		第2ゲーム					
		作戦タイム					
		第3ゲーム					
ふり返り							

8 本時の学習展開

(1) 本時の目標

- ・自分たちや相手チームの特徴に応じた作戦を考え、練習したことをゲームに生かすことができる。
(知識・技能)
- ・ゲームや役員での自己の役割を確認することができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 学習の展開 (網掛け下線は共生の視点)

主な学習活動	指導上の留意点 (◇)	評価 (☆) 【評価方法】
0 本時のめあてを確認する。	◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て ◇作戦会議のためのデータや資料を渡す際に、本時のめあてやルールを共有する。	☆資料を基にチームで話し合い、作戦を立てることができる。 (思考・判断・表現力) 【発言・ワークシート】
自分や相手チームに合った作戦を考えて練習し、それをゲームに生かすことができる。		
1 チームで運動の場や用具の準備、準備運動をする。	◇チームワークを高めるために、キャプテンを中心に準備運動を行うようにする。	

2 シュート練習をする。	◇4つのゴールをシュートして回る。	
3 チーム練習をする。	◇2面のコートで6チームが公平に練習できるよう、時間を決めてローテーションする。 ◇動きのよいチーム練習をしている班は記録しておき、あとで紹介できるようにする。 ◆練習でシュートが決まらないチームや児童には、どの位置から、どの方向、ボードのどこを狙えばよいかを考えさせる。	☆チームで立てた作戦の動きを実際に確かめ、自分の役割を確認することができる。 (思考・判断・表現) 【行動観察】
4 ゲームをする。 前半～作戦タイム～後半 3分 1分 3分 (合計2試合実施)	◇対戦相手やコートは、あらかじめ作戦会議で班長に伝えておき、自分たちでゲームを進められるようにしておく。 ◇ゲーム後には、チームでのふり返りを必ず行うようにする。	☆チームで立てた作戦や練習を生かしてゲームをしているか。 (知識・技能) 【行動観察】
5 ふり返りをする。	◇データを基に立てた作戦をゲームで生かすことができたか、チーム内でふり返りをする。 ◇チームや個人の動きで良かったところを紹介し、次の作戦につなげられるよう全体で共有する	